

平成 29 年漁期のハタハタ漁獲対象資源量の予測結果について (第 2 報)

前回 (9 月 20 日) お知らせした本県のハタハタ漁獲対象資源量の予測結果 (本ホームページ内に掲載) に続き、本県沿岸における初漁日の予測結果を加えて第 2 報としてとりまとめましたのでお知らせいたします。

青森県における平成 29 年漁期のハタハタ漁獲対象資源

- ・ 資源量は前年漁期をやや下回る 1,151 トンと推定
- ・ 沿岸における漁獲主体は 1 歳魚、2 歳魚
- ・ 初漁日*は 12 月 4 日 (±1 日)

※初漁日は新深浦町漁協岩崎支所においてその冬最初の水揚げが記録された日。

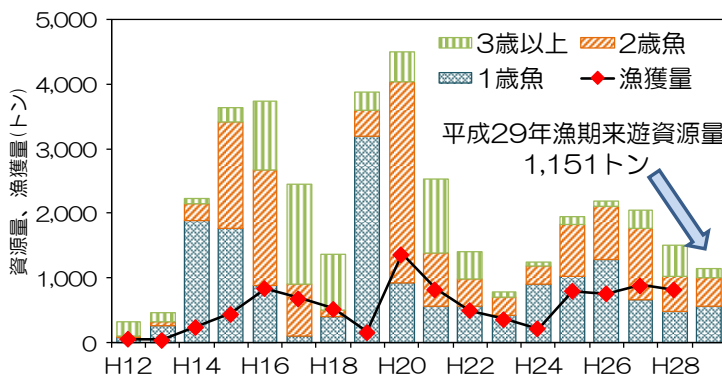


図1 青森県におけるハタハタ漁獲対象資源量と漁獲量の推移

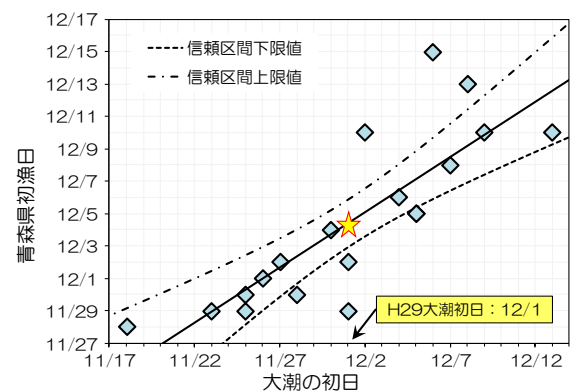


図2 大潮と青森県のハタハタ初漁日との関係

1. 青森県におけるハタハタ漁獲対象資源

漁獲対象資源を年齢別に見ると、1歳魚が前年比17%増の560トン、2歳魚が20%減の430トン、3歳以上は70%減の160トン(図1)と推定され、産卵に参加しない雌1歳魚が接岸せず、漁獲対象とならないことを考慮すると、1歳魚、2歳魚の小、中型魚が漁獲主体となり、大型魚である3歳以上の漁獲は少ない可能性が高い。

2. 秋田県における漁獲対象資源量の情報 (秋田県水産振興センターホームページより)

秋田県における平成29年漁期の漁獲対象資源量は、1-2歳魚が中心で3歳魚も混じり、3,200万尾、1,800トンと推定。これは前年漁期の資源量1,900トンよりもやや少ない。

3. 本県における初漁日予測結果

- ・ 初漁日は沿岸水温が14℃未満に低下した直後の大潮に近い日となる。
- ・ 平成29年11月6日現在、沿岸水温は15.4℃で平年よりもかなり低めに推移している。
- ・ 青森県における平成29年漁期の初漁日は、大潮周期との関係から12月4日(±1日)と予測された(図2)。なお、本県日本海側では沿岸水温が平年よりも『かなり低め』となっていることから、本県の初漁日も予測より早まる可能性がある。